

あらゆるビジネスシーンで活躍の会員の皆様をご紹介します。

# ビジネス × インタビュー

## 株式会社 久田電気工事

取締役社長 久田 芳郎さん



### 早くから高所作業車を導入

幼い頃から学校での理科の勉強が楽しみでした。中でも電気に対する興味が進学するにつれて大きくなり、大学卒業後は電力会社の子会社へ就職しました。しかし、サラリーマン生活に馴染めなかった私は、直に独立、岐阜で電気工事業を始めました。電線から家庭や職場へと電気を引き込む工事が中心です。ところが、会社を立ち上げた後は苦勞の連続でした。何も実績がない上に、お客様からいくらもらえばいいのか、料金すら明確にできなかったからです。

それでも同業他社との差別化を図ろうと導入したのが高所作業車です。電気の引き込み工事をする際、電柱や家屋に直接梯子を架けると傷をつけてしまう可能性があります。当社は県内でいち早くこの高所作業車を導入しました。機械化への対応が早かったおかげで県内全域はもちろん、長野や静岡など他県か

には長い目で見て育てていくことが大切だと私は思っています。こうして育てた社員の誰もが永く勤めてくれますし、私も安心して仕事を任せることができます。経営者と社員の間信頼関係を築くことは、企業として大切なことであると思います。

### 人が一番大切

私も仕事の依頼を受けるようになりました。以来数十年、現在ではIH機器や温水器、太陽光パネルの設置なども取り扱う総合電気工事会社として、皆様からご愛顧いただいております。

### 自ら興味を持つことが大切

電気は日常生活に欠かせないものになりました。それだけに、私たちの仕事は失敗が許されません。社員には正しい知識と技術を身に付けるよう指導していますが、決して最初から資格を取らせません。入社するとまず専門学校に通わせ、知識と技術を学ぶことから始めます。その後、現場での仕事を覚えていきます。そうすることで仕事に対する興味が自然と大きくなり、「もつと勉強したい」「資格を取りたい」と思うようになります。人は5年、10年と経験を積むことで、一人前になっていくのではないかと思います。そのため

### 支えてくれる社員に感謝

私は仕事の合間に多くの団体、組合等の活動に参加するように心掛けています。どんな業種にとっても同業者との横のつながりは、様々なノウハウを得たり、情報交換をするための貴重な場となります。同業者は競争相手であると同時に、その悩みや苦勞も互いに関わり合える「仲間」でもあります。業界の発展のためにお互い切磋琢磨することは大切ですから、このような活動には積極的に参加しています。こうして、私が多くの活動に参加できるのは、本業で皆様からの信頼をいただいているからだと思っています。そして、それも社員が丸となって仕事に取り組んでくれているからに他なりません。私を支えてくれる社員には常に感謝しています。これからも社員や会社を大切に、業界や社会の発展に貢献していきたいと思えます。



### 趣味

野球、陶芸。幼い頃から野球が好きで、高校時代はセカンドを守っていました。今では後援会で高校野球を応援しています。

## 今月の会社データ 株式会社 久田電気工事

住所 岐阜市日光町3-35  
電話番号 058-231-7800  
創業 昭和39年  
事業内容 電気工事業